http://www.takebishi.co.jp
本社／〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL(075)325-2111 FAX(075)325-2250

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した植物油インキを使用しております。

株主の皆様へ

TAKEBISHI REPORT

128

第128期中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

株式会社たけびし

証券コード:7510

進化する技術と最良の品質を提供する“トータルソリューション技術商社”を目指しています。

Q1 当第2四半期の、たけびしグループをとりまく経営環境について教えてください。

A1 当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものの英国のEU離脱問題を背景とした円高の進行等により一部の企業で設備投資に足踏みがみられるなど、先行きの不透明な状況で推移いたしました。

Q2 当第2四半期の、たけびしグループの取り組みについて教えてください。

A2 当社グループは収益力の更なる向上を目指し、基幹ビジネスの強化に加え「デバイスビジネス」、「装置システムビジネス」等の重点戦略に注力すると共に、IoT関連のオリジナル商品を開発し市場投入するなど、技術商社としての付加価値向上に取り組んでまいりました。

Q3 当第2四半期の、たけびしグループの業績について教えてください。

A3 当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高324億13百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益11億85百万円（前年同期比17.2%増）、経常利益12億25百万円（前年同期比19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億63百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は1926年の創業以来、京都・滋賀地区を主力地盤に、三菱電機製品を中心とした産業用電機・電子機器を取り扱う技術商社として、多くのお客様に支えられながら今日の経営基盤を築いてまいりました。

現在では営業拠点を国内7支店・1営業所、海外5拠点へと拡大し、三菱電機製品に加えて多くのパートナー商品の取り扱いとオリジナル商品の開発を進めながら、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。

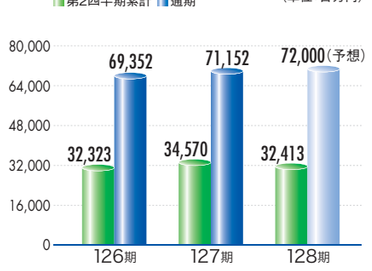
“たけびし”は、産業機器システム、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という社会のあらゆるシーンにおいてお客様に満足、そして喜びと感動を提供し続ける“トータルソリューション技術商社”として、更なる「品質の向上」と「付加価値の創出」に努めてまいります。

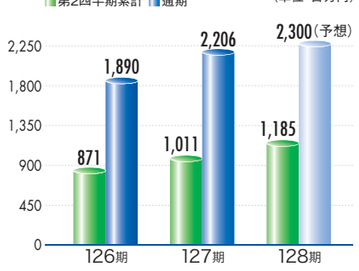
“京都発　最強の技術商社”を目指し、これからも皆様と共に歩んでまいる所存です。今後ともご愛顧の程よろしくお願いいたします。

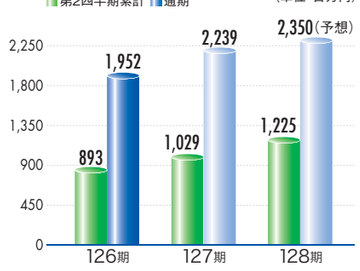
株主の皆様におかれましても、なにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

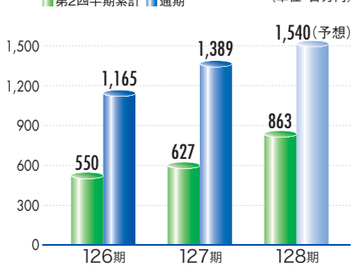
代表取締役社長 藤原 宏之

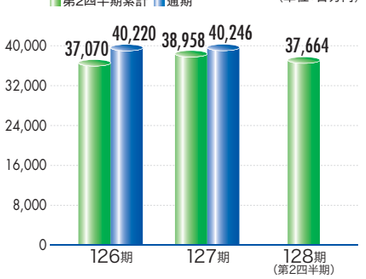
決算ハイライト（連結）

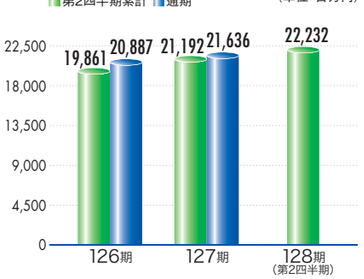












連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末(平成28年9月30日現在)	前連結会計年度末(平成28年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	29,839	32,507
固定資産	7,825	7,739
POINT.1 資産合計	37,664	40,246
負債の部		
流動負債	13,977	17,333
固定負債	1,454	1,276
POINT.2 負債合計	15,432	18,610
純資産の部		
株主資本	21,911	21,239
その他の包括利益累計額	320	397
POINT.3 純資産合計	22,232	21,636
負債純資産合計	37,664	40,246

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間[平成28年4月 1日から平成28年9月30日まで]	前第2四半期連結累計期間[平成27年4月 1日から平成27年9月30日まで]
売上高	32,413	34,570
売上原価	27,790	30,203
売上総利益	4,622	4,367
販売費及び一般管理費	3,436	3,356
営業利益	1,185	1,011
営業外収益	98	89
営業外費用	59	72
経常利益	1,225	1,029
特別利益	142	–
特別損失	23	9
税金等調整前四半期純利益	1,344	1,020
法人税、住民税及び事業税	437	400
法人税等調整額	43	△7
四半期純利益	863	627
親会社株主に帰属する四半期純利益	863	627

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間[平成28年4月 1日から平成28年9月30日まで]	前第2四半期連結累計期間[平成27年4月 1日から平成27年9月30日まで]
POINT.4 営業活動によるキャッシュ・フロー	328	206
POINT.5 投資活動によるキャッシュ・フロー	101	△90
POINT.6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△417	△251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	△8
現金及び現金同等物の減少額	△98	△144
現金及び現金同等物の期首残高	4,318	4,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,219	4,005

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ポイント

POINT.1 資産合計(流動・固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比25億82百万円減少し、376億64百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少29億63百万円によるものであります。

POINT.2 負債合計(流動・固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比31億77百万円減少し、154億32百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少30億53百万円によるものであります。

POINT.3 純資産合計

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比5億95百万円増加し、222億32百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加6億72百万円によるものであります。

POINT.4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、3億28百万円(前年同期は同2億6百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少等の要因により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が13億44百万円あったことによるものであります。

POINT.5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、1億1百万円(前年同期は90百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が2億8百万円あったことによるものであります。

POINT.6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、4億17百万円(前年同期は同2億51百万円)となりました。これは主に、短期借入金の減少額が2億26百万円あったことによるものであります。

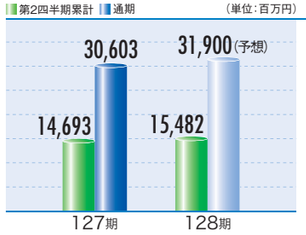
産業機器システム

Industrial equipment and Systems

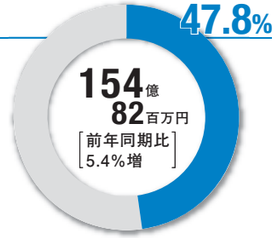
概況

産業機器システム分野においては、食品関連向けを中心とした装置システムが好調に推移したことに加え、半導体製造装置向けのセンサー機器等が増加したことにより、この部門全体では売上高前年同期比5.4%の増となりました。

売上高



売上構成比 47.8%



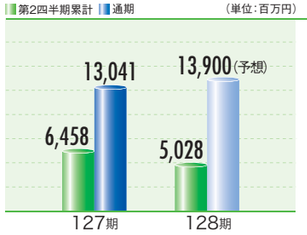
社会インフラ

Social Infrastructure

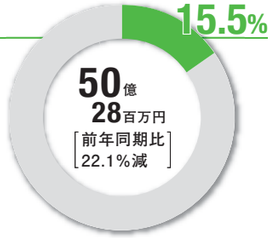
概況

社会インフラ分野においては、エレベータ等のビル設備が増加しましたが、病院向け医療装置が前年同期に集中したことから減少し、この部門全体では売上高前年同期比22.1%の減となりました。

売上高



売上構成比 15.5%



▶▶▶FA・デバイス事業

社会・情報通信事業◀◀◀

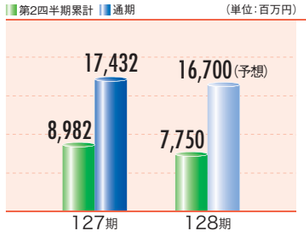
半導体・デバイス

Semiconductors and Devices

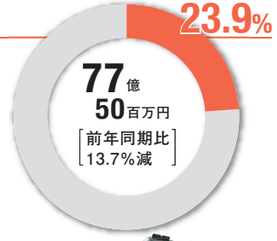
概況

半導体・デバイス分野においては、中国で半導体の需要が減少したことに加え、デバイスがアミューズメント向けで減少したことにより、この部門全体では売上高前年同期比13.7%の減となりました。

売上高



売上構成比 23.9%



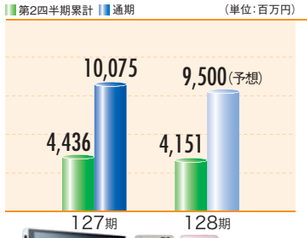
情報通信

Information and Communications equipment

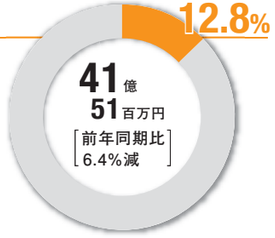
概況

情報通信分野においては、主力の携帯電話がフランチャイズ店再編の影響により減少したことから、この部門全体では売上高前年同期比6.4%の減となりました。

売上高



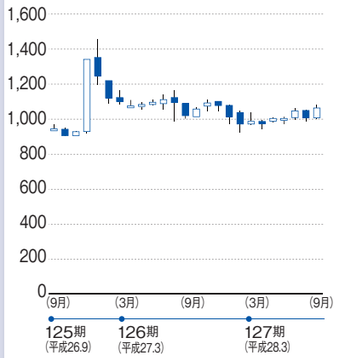
売上構成比 12.8%



株価・配当利回りの推移

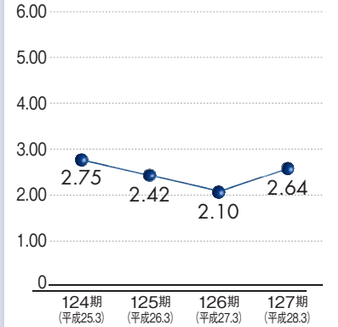
株価

（単位：円）



配当利回り

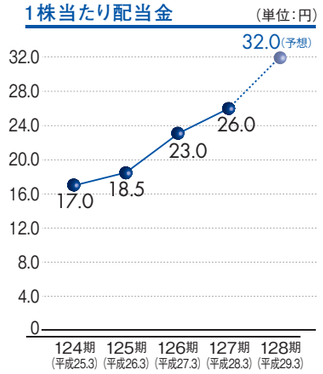
（単位：%）



1株当たり配当金・配当性向の推移

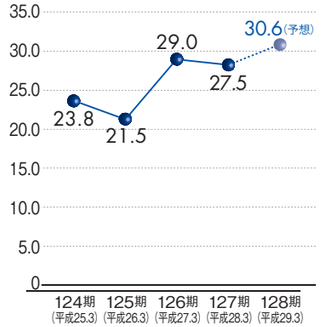
1株当たり配当金

（単位：円）



配当性向

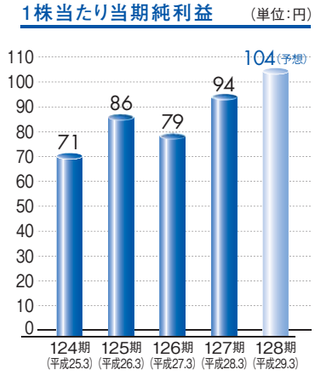
（単位：%）



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産の推移

1株当たり当期純利益

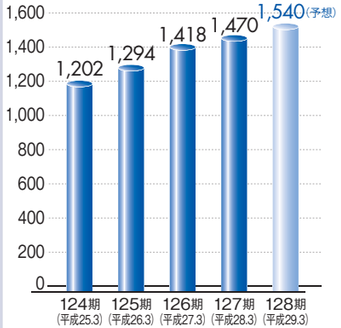
（単位：円）



（注）円未満を切り捨てて表示しております。

1株当たり純資産

（単位：円）



（注）円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

Topics.1

!Link（ビックリンク）で実現するNExTソリューション

たけびしフェア2016開催

7月14日（木）・15日（金）の2日間で1,904名の来場を賜りました。IoT（Internet of Things）やクラウドデータの活用による飛躍的な進化が期待できる次世代の現場をキーワードに、各ゾーンにて、最新の技術をわかりやすくご紹介いたしました。

Topics.2

AEDを導入

本社 本館1階

社会貢献の一環として、本社本館1階にAED内蔵の自動販売機を設置し、AEDマップへの登録を行いました。

また、初めてでも取り扱えるよう操作が簡単なオムロン社製のAEDを導入するとともに、社員研修を実施いたしました。

POINT.1 シンプルで使いやすいAED!

大きなパネルで視認性がよく、操作ボタンも2つだけの構成で、シンプルに使いやすい。また音声ガイダンスとLEDランプにより操作を導いてくれ、初めての方でも迷わず使用できます。

POINT.2 独自技術で電気ショックを最適化!

先端テクノロジー「SCOPE™バイフェージック技術※」を搭載し、傷病者に合わせた電気ショックを判断して与えます。

POINT.3 小型軽量、高耐久性、長寿命!

小型軽量で携行しやすく、防塵・防水性能は高水準の「IP56」をクリア。耐衝撃・耐振動の米国軍用規格もクリアし、高い耐久性を誇ります。

（※）段階的に上昇するエネルギーの波形で、傷病者インピーダンスの違いによって自動的に調整する技術。

会社情報

商号	株式会社 たけびし
英文商号	TAKEBISHI CORPORATION
設立	大正15年（1926年）4月24日
資本金	25億5,472万5,400円
上場市場	東京証券取引所市場第一部
人員	従業員（連結）585人（単独）383人 総人員（連結）657人（単独）406人 ※総人員には臨時雇用を含む。
本社	京都市右京区西京極豆田町29番地
支店	東京（横浜市港北区）　名古屋（名古屋市中村区） 滋賀（滋賀県彦根市）　栗東（滋賀県栗東市） 畿北（京都府福知山市）　大阪（大阪市北区） 九州（福岡市博多区）
営業所	甲府（山梨県甲府市）
関係会社	国内：（株）フジテレコムズ、（株）TSエンジニアリング、竹菱興産（株） 海外：竹菱香港有限公司、竹菱（上海）電子貿易有限公司、竹菱（上海）電子貿易有限公司 天津分公司 TAKEBISHI EUROPE B.V. TAKEBISHI（THAILAND）CO.,LTD.
ホームページ	http://www.takebishi.co.jp

役員及び執行役員

取締役会長	岩田武久
代表取締役社長	藤原宏之
取締役常務執行役員	髙瀬和彦
取締役常務執行役員	松木明
取締役常務執行役員	橋本之博
取締役常務執行役員	亀井孝
取締役常務執行役員	小倉勇
取締役	大庭能成
常勤監査役	稲荷賢
監査役	広瀬裕
監査役	飯塚丈志
執行役員	竹中秀夫
執行役員	西田正憲

株式情報

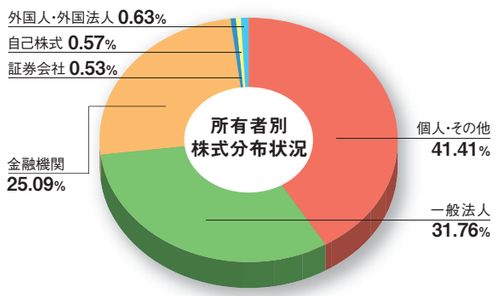
- 発行可能株式総数：28,280,000株
- 発行済株式の総数：14,798,600株
- 株主数：11,568名

大株主の状況

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
三菱電機株式会社	2,340	15.90
株式会社立花エレテック	1,059	7.20
たけびし従業員持株会	770	5.24
株式会社サンセイテクノス	763	5.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	562	3.82
矢野　チズ子	438	2.98
株式会社京都銀行	428	2.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.22
京都中央信用金庫	253	1.72
株式会社滋賀銀行	237	1.61

（注）1.持株比率は自己株式（83,789株）を控除して計算しております。
2.株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株（持株比率4.08%）を含んでおります。

株式分布状況



INFORMATION

株主様向け

IR情報トップ

IRサイトのご案内

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、業績ハイライト等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるよう取り組んでおりますので、ぜひご覧ください。

最新情報　IRニュース・決算情報をご覧いただけます。

業績ハイライト　過去からの業績推移等をグラフでご覧いただけます。

•株主メモ•

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　期末3月31日 中間9月30日 （その他必要ある場合は、公告のうえ設定します）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話（通話料無料）0120-094-777 （土・日・祝祭日を除く9:00～17:00）
公告方法	電子公告の方法により行います。 （ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。） 公告掲載URL（http://www.takebishi.co.jp）

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。